

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	二次輪番病院運営費補助金	開始 年 度	昭和51年度
団 体 名	二次輪番病院 (9病院)	団体等 の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 課税事業者 <input type="checkbox"/> 免税事業者
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則・二次輪番病院運営費補助金交付要綱		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	夜間急病センターおよび救急患者の搬送機関との円滑な連携体制の下に、休日または夜間における入院治療を必要とする重症救急患者に対する医療を提供するための診療事業を実施する。
目 的	(目 的) 二次救急医療施設において、夜間急病センターおよび救急患者の搬送機関との円滑な連携体制の下に、休日または夜間における入院治療を必要とする重症救急患者の医療を確保することを目的とする。
・ 効 果	(効 果) 救急患者のため、診療事業を実施することにより、市民の健康保持に寄与することができる。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	計	
		市	その他					
収	R3 (決算)	48,560 [48,560]		82,038 [82,038]			194,203 194,203	324,801 [324,801]
	R4 (決算)	48,377 [48,377]		95,506 [95,506]			181,041 181,041	324,924 [324,924]
	R5 (決算)	48,068 [48,068]		102,405 [102,405]			139,788 139,788	290,261 [290,261]
入	R6 (決算)	48,102 [48,102]		101,162 [101,162]			154,730 154,730	303,994 [303,994]
	R7 (予算)	48,531 [48,531]		103,940 [103,940]			156,349 [156,349]	308,820 [308,820]
	計							
支	R3 (決算)	324,801 [324,801]						324,801 [324,801]
	R4 (決算)	324,924 [324,924]						324,924 [324,924]
	R5 (決算)	290,261 [290,261]						290,261 [290,261]
出	R6 (決算)	303,994 [303,994]						303,994 [303,994]
	R7 (予算)	308,820 [308,820]						308,820 [308,820]
	計							

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	二次輪番病院運営費補助金
----------------	--------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	休日・夜間の重症患者に対する救急医療体制を維持することは、市民生活の安全・安心の確保において重要であり、極めて公共性の高い事業である。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	救急医療は、その採算性において診療報酬による運営が困難であり、救急医療体制確保のため補助する必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域における救急医療体制は、行政の責任で医療機関と連携して整備するべきものであるが、国の診療報酬体系により採算に陥りやすいこともあり、行政の補助金を受けない形での自主自立は困難である。(小児科分は、国・道補助あり、他科は地方交付税の算定根拠に入っている)
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	補助以外の手法はなじまない。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

補助金・交付金チェックシート(No.3)

補助金名 (交付金名)	二次輪番病院運営費補助金
----------------	--------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
3か月ごとに二次輪番病院群より当番日患者数報告書を提出してもらい、二次救急の実態を把握している。
(達成状況)
空白を生じることなく、1年を通じて二次救急医療体制が確保されている。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	当該補助金が二次救急医療体制の確保に一定の効果をあげているが、救急搬送による利用者数が増加傾向にあり、これらに対応する体制を維持していくため、各医療機関の人材確保が重要となる。

○今後の方向性

<input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 救急医療は、その採算性において診療報酬による運営が困難であり、救急医療体制の確保に要する経費について補助する必要があるため、現行のまま継続する。
<input type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(見直しの時期)	

(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
令和9年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	令和9年度